

## 理事長挨拶

理事長 佐藤孝信



6月13日の定時総会並びに理事会で会員・理事の皆様にご賛同をいただき理事長に就任しました佐藤孝信（さとう こうしん）です。みなさんのお力をお借りしながら、一緒にセンターの発展に努めたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

新型コロナウイルスの対応に追われた3年間でしたが、国の施策の変更により、ようやく普段の生活に戻りつつあります。会津坂下地方広域シルバー人材センターは、会員の方々が「自主・自立・共働・共助」の精神のもと、明るく、元気に、そして何よりも地域社会のかけがえのない担い手としてご活躍中です。さらに、高齢化社会がどんどん進む中、人生100年時代をより充実したものにするためにも、シルバー人材センターの役割はますます重要になってくると思います。

今、事務所に顔を出される会員の皆さんから「発注者の思いや願い」に応えようとする意欲ややる気を常に感じ、心が引き締まる思いをしています。

しかしながら、シルバー人材センターの大きな目標である会員数の拡大につきましては、年金支給年齢の引き上げや多くの企業で70歳までの雇用努力に務めていることから、60歳代の会員の確保が困難な状況にあり、会員数の減少が顕著です。そのために業務のスムーズな遂行にも支障が生じている現状にあります。様々な課題もこれから見えてくると思いますが、会員の皆さんの声に耳を傾け、一つ一つその改善に向けて、皆さんとともに努力していきたいと思っております。

## 退任のあいさつ

前理事長 春日芳則



過日の定時総会をもって、理事長を退任させて頂くこととなりました。

在任中は会員及び関係者の皆様には、公私ともにお世話になりました。紙面をお借りし御礼申し上げます。思えば新型コロナと共にあった4年間でした。「慣例」「通常」が通用せず、「緊急」「特例」措置による対応や「中止」を迫られる状況も多々あり、そのたびに会員の皆様には様々なご心配やご迷惑をおかけしてしまいました。

また、65歳までの雇用確保措置や70歳までの就業機会の延長などにより、会員や受注数の減少が続き、またコロナ禍も重なり、毎年の契約額については、減収続きとなってしまいました。

このような状況にあって、昨年度は事業運営等改善検討委員会を立ち上げ、安定的組織の運営と経営基盤の確立に向けた方策を話し合い、答申をいただきました。過日の総会においては会員の皆様にもご協力いただくことでご承認をいただき、安堵したところです。

来る10月からはインボイス制度も開始され、収支相償を原則とする公益社団法人シルバー人材センターにとっては新たなリスクを抱えることとなります。それに伴う新たな財源の創出についてはある程度の道筋はつけてきたつもりですが、十分とは決して言えない状況です。

今後は佐藤新理事長のもと、さらなる改革・改善を図りながら財政再建に向けた方策の継続と共に、会員の皆様のさらなる増強、ご協力をお願いいたします。

超高齢化社会が加速している昨今、会員の皆様には、地域社会の活性化を支える担い手として、健康に留意され、今後も多方面でご活躍されることを願い、退任の挨拶とさせていただきます。